

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 | 富山県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	小矢部市立大谷小学校								教員数
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	20
学級数	2	2	3	2	2	2	1	14	
児童数	66	73	83	57 (1)	77	71 (1)	2	429	

研究の概要

1. 研究主題

生き生きと学び合う子供の育成  
- わかる授業、楽しい授業を通して -

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- 1、2年生・算数、国語  
・子供の理解に差が出やすいことから、操作活動を取り入れて確実な理解を図るため。また、国語科はすべての学習の基礎となるため。
- 3、4年生・算数  
・子供の理解に差が出やすく、高学年の学習につなぐためには確実な理解が必要であるため。
- 5、6年生・算数  
・子供の理解に大きな差が出ることから、特に、個々に応じた指導が必要となるため。
- 5、6年生・理科、社会  
・専門的な知識や指導法が要求されてくる教科であり、その研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

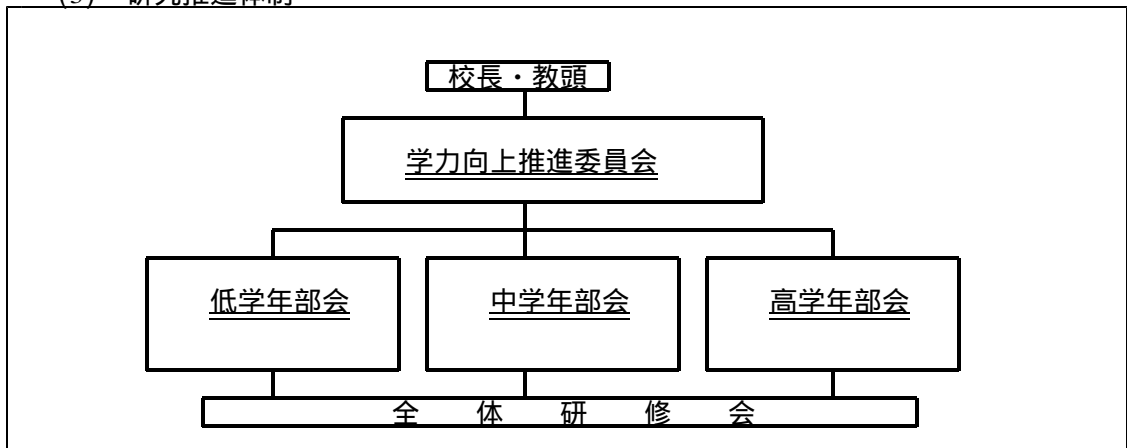
平成 14 年度	<p><b>テーマ</b> 生き生きと学び合う子供の育成 - わかる授業、楽しい授業を通して -</p> <p><b>仮説</b> 基礎・基本の定着を図る学習過程を工夫することにより、子供は学習内容を理解し、問題を解決していく楽しさを感じ取ることができる。 基礎・基本を生かし、発展的に考える力を育てる学習のあり方を工夫することにより、子供は考えを深めたり、広めたりして、意欲的に追究していくことができる。 一人一人のよさや可能性が生きる評価を工夫することにより、子供は自信を深め、見通しをもって、主体的に追究していくことができる。</p> <p><b>研究内容・方法</b> &lt;基礎・基本の定着を図る学習過程の工夫&gt; 学力の基礎・基本についての研究 単元導入における動機づけの工夫 個に応じた指導のための指導方法の工夫 &lt;発展的に考える力を育てる指導のあり方の工夫&gt; 意欲的な追究を促す学習方法 新たな教材の開発 &lt;一人一人のよさや可能性が生きる評価の工夫&gt; 観点別の評価規準をもとにした評価項目の設定 一人一人が学ぶ学習過程の把握と支援のあり方</p>
----------------	--

平	<p><b>テーマ</b> 生き生きと学び合う子供の育成 - わかる授業、楽しい授業を通して -</p> <p><b>仮説</b> 基礎・基本が確実に定着するよう学習過程を工夫し、個に応じた指導を行うことにより、子供は学び方を身に付け、学ぶ楽しさを感じ取ることができる。 考えを深めたり、広めたりして、生き生きと学び合うことができる単元構成を工夫することにより、子供は意欲的に学習に取り組むことができる。</p>
---	--

成 15 年 度	<p>評価の観点を明確にし、支援に生かすことにより、子供は目当てをもち、主体的に追究していくことができる。</p> <p><b>研究内容・方法</b></p> <p>&lt;指導方法の工夫&gt;          学びの基礎・基本についての研究          学習内容とグループのあり方（習熟度、課題別、興味・関心別 etc）          指導体制の工夫と内容の明確化</p> <p>&lt;発展的に考える力を育てる教材の工夫&gt;          学習過程と目標の設定          主体的な学習を促す教材の研究開発</p> <p>&lt;評価の工夫&gt;          評価規準の設定          評価の観点の見通し</p>
-------------------	--

平 成 16 年 度	<p><b>テーマ</b></p> <p>生き生きと学び合う子供の育成          - わかる授業、楽しい授業を通して -</p> <p><b>仮説（案）</b></p> <p>学習過程の中にふり返りの場を位置づけることにより、子供は学習内容を着実に身につけ、深めていくことができる。          かかわり合う場を工夫することにより、子供は学びを広げながら、発展した追究をすることができる。          一人一人のよさを引き出す場をつくることにより、子供は自信をもち、主体的に追究していくことができる。</p> <p><b>研究内容・方法（案）</b></p> <p>&lt;学びの過程の充実&gt;          個人差に応じた指導過程のあり方</p> <p>&lt;教材の工夫&gt;          問題解決学習、体験活動の推進          地域人材の活用</p> <p>&lt;一人一人のよさが生きる評価&gt;          個々の資質、能力の把握と評価          自己評価と相互評価</p>
------------------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

<p>* アンケート結果から、算数や理科を好きになった子供が増えてきている。</p> <p>* 少人数指導やチームティーチングの実施により子供たちの学力は向上してきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数では、計算力を高めるため、学習の進度に応じた問題を計算タイムの時間を利用し、反復練習を重視した。この結果、表現・処理の力が多少ではあるが伸びてきた。計算にチャレンジでは1回での合格率が2%上昇した。また、2学期末のデータでは表現・処理の観点の平均点が2点上がった。</li> <li>・国語では、子供の実態に応じたプリントを作成して、繰り返し練習に取り組んだ。2学期には、漢字の「とめ、はね、はらい」だけでなく、筆順問題も作成して実施</li> </ul>
---

したことによって、学習した漢字は正確に書ける子供が増えてきた。校内の漢字にチャレンジでは、合格率96.4%であった。

- \* 低学年では昨年よりも図書室や学級文庫を利用し、文字に親しむ子供が増えた。また、大きな声や気持ちを込めて音読することもできるようになった。
- \* 家庭学習の習慣化を進めた結果、進んで家庭で学習する子供が増えた。また、兄弟では上級生に刺激され、1年生でも1時間近く家庭学習に取り組む子供も見られた。今年度、家庭学習の目標は「学年×10分間」とした。
- \* 「大谷のこども」に示した学習のきまりが少しずつ身に付いてきている。  
学習のきまり・・・話の聞き方、発表の仕方、手のあげ方、ノートの使い方等

## 2. 今後の課題

- \* 年間計画の見直し  
算数科と国語科、「総合的な学習の時間」のより一層の充実を図るため、年間計画を見直す。
- \* 朝のタイムの充実  
朝のタイムについて、「学習習慣の定着」から「基礎・基本の定着」へ重点を移し、実施内容を見直す。
- \* 「大谷のこども」の指導の徹底  
学習のきまりについて、指導の徹底を図り、しっかり身に付ける。
- \* 教師の指導力向上  
計画的な県外研修や校内研修の充実を図る。

## 学力等把握のための学校としての取組

- \* 毎学期、「漢字にチャレンジ」、「計算にチャレンジ」の実施  
(合格ラインを設定し、合格率、正答率を調査)
- \* 毎学期、教科の観点別に正答率を調査
- \* 定期的な学力調査や各種調査を実施し、その結果を累積するとともに、指導方法に活用
- \* 児童の意識調査、自己評価

## フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- \* 研修1 平成15年6月20日(金) (校内研修)  
第4学年 算数科
- \* 研修2 平成15年9月17日(水) (校内研修)  
全学級 提案授業
- \* 公開授業 平成15年11月9日(日) (地域や保護者対象)  
全学級公開授業
- \* 研修3 平成16年1月27日(火) (市内小中学校対象)  
第3学年 算数科
- \* 講演会開催 平成16年1月29日(木) (市内小中学校対象)  
「個に応じた指導について」
- \* 研究成果普及のためのHP作成  
[http://www.tym.ed.jp/sc205/gakuryoku/ga\\_index.htm](http://www.tym.ed.jp/sc205/gakuryoku/ga_index.htm)
- \* パンフレット作成(添付資料)  
地域の各種団体、保護者へ配布
- \* フロンティアティーチャー(荒井勇教務主任)としての研究成果普及のための活動実績  
平成16年1月28日(水) 石川県内灘町立小木小学校(平成15年度より指定)  
校内研修会講師の依頼があり、本校の取組紹介
- \* 今後の予定  
平成16年11月18日(木) 研究発表会(3年次の発表)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |                      |            |            |      |    |
|----------------------|------------|------------|------|----|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 |      |    |
| 【学校規模】               | 6学級以下      | 7～12学級     |      |    |
|                      | 13～18学級    | 19～24学級    |      |    |
|                      | 25学級以上     |            |      |    |
| 【指導体制】               | 少人数指導      | T・Tによる指導   |      |    |
|                      | 一部教科担任制    | その他        |      |    |
| 【研究教科】               | 国語         | 社会         | 算数   | 理科 |
|                      | 生活         | 音楽         | 図画工作 | 家庭 |
|                      | 体育         | その他        |      |    |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |            | 有          | 無    |    |